

別れと旅立ちの季節

校長 柏木博之

例年より早い春の訪れの中、13日(水)に小中学校の卒業式を行い、中学生5名が本校を巣立っていきました。保護者や地域の皆様、来賓の方々には、ご多用の中ご臨席いただき誠にありがとうございました。感動の中終わることができました。また、この一年間子どもたちを温かく見守り、ご支援ご協力をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。子どもたちが大きなけがをせず、事故に遭うこともなく過ごせたのも、皆様のお陰だと感謝しております。

卒業式の式辞で坂村真民さんの詩を読みました。大好きな詩をもう一つ紹介します。

つみかさね
 一球一球のつみかさね
 一打一打のつみかさね
 一步一步のつみかさね
 一坐一坐のつみかさね
 一作一作のつみかさね
 一念一念のつみかさね

つみかさねの上に 咲く花
 つみかさねの果てに 熟する実

それは美しく尊い
 真の光を放つ

春咲く花も冬の間コツコツと花を咲かす準備をしていました。この詩を読むたびに、毎日の積み重ねの大切さを認識します。学校も一つ一つの指導の積み重ねで子どもに力をつけていきます。「教育は手品ではない。瞬時に変わる事などあり得ない。」尊敬する人の文章です。学校は思いつきでなく、その効果を高めるために計画を立てて教育をします。3月は、次の4月からの1年間の教育の計画(教育課程)を完成させる時期です。24年度1年間の教育をすべての面で振り返り、不備や欠点があればそれを改めました。教育はこのように計画的な営みです。25年度も積み重ねていきます。

数百kmの渡りをするチョウ・アサギマダラを先日見つけました。ふわふわ飛ぶきれいなチョウです。アサギマダラは天候を感じ取り、蜜をたっぷり吸って、これから北の方へ飛んでいきます。中学を卒業した5名も硫黄島の良さをいっぱい吸収して旅立てたと思います。



第66回卒業式

13日(水)に、第66回卒業式を実施しました。今年度は、小学6年生の佐藤彪君、平田典哉君、中学3年生の秋田直虎君、池田靖嵩君、平田竜暉君、中村優樹君、樋渡初菜さんの7人が三島小中学校を巣立っていきました。



式では、卒業生の中学校・高等学校進学に向けて、多くの方々から温かい激励のメッセージをいただきました。また、卒業生・在校生による「揚げば尊し」、「校歌」、そして、お別れの歌「夢をあきらめないで」「旅立ちの日に」では全児童生徒及び全職員で心をつなげた合唱ができました。

多くの方々の御出席のもと、盛大に卒業式を挙行することができ、卒業生にとって、今後の目標や希望を新たにする心に残る式となりました。御多用な中、御出席いただきました保護者や地域の皆様方、本当にありがとうございました。

立志式

2月28日(木)に、立志式を実施しました。今年度は、正野崎聖智君、佐藤詩緒里さんの二人が立志を迎えました。当日は、保護者の方々や地区の方々にも多数出席していただき、お祝いや激励の言葉をいただきました。二人はそれぞれ、これからの決意について原稿を見ずに立派に発表しました。



立志式後は、日本理科教育支援センターの小森栄治先生を講師に迎え、「一度限りの人生をどう生きるか〜やればできる〜」という演題にて記念講演を実施しました。小森先生は「最大の意志決定は一度限りの人生をどう生きるかということだ。」「やらずに後悔するより、やって後悔した方がいい。」「人生の目的は、自分の夢の達成、可能性を伸ばす、人の役に立つことをするという三点にある。」など、これからの人生に大切なことについて、具体的な事例を示しながら説明して下さいました。また、これまでの御自身の経験をもとに人生を生き抜く知恵について講演して下さいました。



立志を迎えた二人はもちろん、児童生徒全員が今後の自分の進路や将来の夢について深く考える貴重な機会となりました。ご講演下さいました小森先生をはじめ、ご多用中御出席いただきました保護者や地域の皆様方、本当にありがとうございました。

いつも、おいしい給食ありがとうございます。

11日(月)に本年度最後の合同給食があり、いつもおいしい給食を作っていただいている用務員の徳田幸子さんと給食婦の安永えり子さんに感謝の気持ちを込めたメッセージの色紙を渡しました。学校の給食で今まで嫌いだった食べ物を食べるようになったことなどについてメッセージが書かれていました。これからもおいしい給食をよろしく願います。



学校評価を受けて

保護者の皆様には、本年度も毎学期末に「学校評価」にご協力いただきありがとうございました。本年度の学校評価を受けて、学校では子どもたち一人一人のより一層の基礎学力向上及び体力向上が課題だと考えています。基礎学力向上につきましては、NRT・CRT学力検査や全国学力・学習状況調査、「基礎・基本」定着度調査等の結果を基に個人カルテを作成し、子ども一人一人の的確な実態把握とそれに応じた継続的な指導を充実していく予定です。また、体力面については、現在の取組をより充実・深化させ、改善を図ります。子どもたちのよりよい成長に向け、職員一同保護者の方々への連絡をより密にし、よりよい連携が図れるようさらに努力いたします。各家庭においても今後も子どもたちが決まった時間には机に向かって学習に取り組むよう励ましの声かけをすることなど、ご指導をよろしくお願いいたします。